

# EXCELアンケート太閤Ver.5.5

## 総合カタログ

- 集計版
- 集計+グラフ版
- 全機能版

EXCELアンケート太閤は、  
手軽にアンケートの集計や分析ができる、  
Excel上で動作するソフトウェアです。

# シリーズの概要



## アンケート集計解析シリーズ

エスミのアンケート集計解析シリーズは、Microsoft Excel上で動作するソフトウェアです。Excelがインストールされているパソコンならば、どなたでもお使いいただけるソフトウェアです（※Excelのバージョンなどによっては、正常に動作しない場合があります。詳しくは後述する「動作環境」欄をご参照ください）。

アンケート集計解析シリーズはアンケートデータの入力・集計・解析に最適です。以下の3機能により構成されています。

### ●「集計編」機能

質問文やデータの入力から集計までをスムーズにおこなえます。

### ●「グラフ編」機能

「集計編」の集計結果をグラフ化します。

太閤内でグラフの雛形を作成し、同形式のグラフを大量に自動作成することができます。

### ●「解析編」機能

集計編で作成したアンケートデータから、簡単な操作で高度な統計解析がおこなえます。アンケート解析でよく使用する解析機能を搭載しています。

3機能の組み合わせにより、下記3製品があります。

製品名 収録されている機能

- 【集計版】 [集計編]
- 【集計+グラフ版】 [集計][グラフ編]
- 【全機能版】 [集計][グラフ編][解析編]

### 【価格】

#### ● 一般価格(税別価格)

集計版	70,000円
集計+グラフ版	90,000円
全機能版	130,000円

#### ● アカデミック価格(税別価格)

集計版	63,000円
集計+グラフ版	81,000円
全機能版	117,000円

### 【添付書籍】

【全機能版】には、菅民郎『すべてがわかる アンケートデータの分析』(現代数学社)が添付されています。

### 【ユーザーサポート】

弊社ソフトウェアをお買い上げいただいた方には、ソフトウェアの操作方法についてのユーザーサポート(無料)をおこなっています。

※ユーザー登録を済ませた方が対象です。

### 【太閤導入支援セミナーを開催しています】

太閤をご購入いただいた方を対象に、太閤導入支援セミナーを月1回エスミ社内(東京都中野区)にて無償開催しています。

EXCEL アンケート太閤(以下太閤と記します)の豊富な機能の中から、基本である集計編の使用法を中心にノートパソコンを使用しながら学習します。

また、弊社に来ることが難しい方々のために出向開催(有償)もおこないます。詳細は下記HPをご参照ください。

### ■「EXCEL アンケート太閤速習セミナー」の出向開催

[http://www.esumi.co.jp/Software\\_Sokushu.php](http://www.esumi.co.jp/Software_Sokushu.php)



## 動作環境

このソフトウェアは日本マイクロソフト株式会社のExcel上で動作する製品です。

下記Excelがインストールされている必要があります。

●日本語版Excel 2013/2016/2019 (32bitと64bit 両対応)

●OS: ご利用になる Excel の環境に準拠します。

(Windows 8/10 64bit 版でも動作します)

●ライセンス形態: 永続ライセンス

### ★Office365をご利用の場合

デスクトップアプリ版の上記エクセルがインストールされている環境では動作いたします。

### ★ストアアプリ版エクセルをご利用の方へ

デスクトップアプリ版エクセルに変更(無償)すれば動作いたします。詳細はエスミHP「よくあるご質問」の「ストアアプリ版Office2016がインストールされている場合の対応方法」をご参照ください。



## 制限

### ● 1ファイルあたりの内容

	Ver.5.0/5.5
回答者数	65000
質問数	1016まで
単数回答質問1つあたりの選択肢数	250まで
複数回答質問1つあたりの選択肢数	250まで
文字数	半角250文字

\*太字はVer.5.0で拡張された機能

### ■Ver.5.0では、太閤データファイルを拡張しました。

- ・太閤で扱える質問数を508→1016へと倍増しました。
- ・複数回答質問1つあたりで扱える選択肢数を75→250へ拡張しました。

### ■Ver.4.0とVer.5.0のファイル互換性について

◎以前の太閤データファイルを自動変換します。

Ver.5.0/5.5でVer.4.0以前に作成された太閤ファイルを読み込むと、自動的にVer.5.0形式のファイルとして新規保存されます。★Ver.5.5もファイル形式は【Ver.5.0形式】です。

◎太閤データファイルの下位互換性を保持しています。

Ver.5.0形式の太閤データファイルでも、

- ・質問数508問以内
- ・複数回答質問1つあたりの選択肢数が75以内のファイルであれば、太閤のVer.3.0/4.0でそのまま利用が可能です。(再集計が必要です)



## Ver.4.0からVer.5.0/5.5への変更点



### ■ 主なバージョンアップ機能

## 集計編の新機能

#### ●項目数(質問)が508 → 1016に拡大

多くのデータ加工をおこなっても、質問数が不足することはありません。

#### ●MA (複数回答) 形式の処理カテゴリ数を250に拡大

ご希望の多かった機能拡張です。データ加工時など、カテゴリ数不足に悩むことがなくなりました。

#### ●太閤データファイルの上位互換

Ver.4.0までの太閤で作成されたデータファイルはそのままご利用可能です。

#### ●ファイルの履歴保存

太閤データファイルのバックアップ保存、保存ファイルの再読み込みが簡単におこなえるようになりました。

#### ●データチェックの自動再実行機能

データチェック履歴に従い再実行します。回答データが追加されたときに便利な機能です。

#### ●データ加工の新機能

- ・ 順位回答の項目/カテゴリ変換  
順位づけられた回答を、カテゴリ回答へ変換します。
- ・ [ディテール集計用データ作成機能]  
回答者単位での集計を回答数単位への集計にデータ変換します。

#### ●単純集計の新機能

- ・ 計算結果の再表示機能追加
- ・ 項目(質問)ごとの集計指定強化

#### ●クロス集計の新機能

- ・ 計算結果の再表示機能追加

#### ●数量クロス集計の新機能

- ・ 計算結果の再表示機能追加
- ・ 中央値計算の追加
- ・ 集計指定方法が簡単便利になりました。

#### ●集計編その他の機能強化

- ・ 母集団拡大集計の全体数値指定
- ・ 回答者抽出条件の一括指定

#### ●印刷機能の新機能

- ・ %値に“%”記号表示選択を追加
- ・ 小数点出力の桁数指定機能を追加
- ・ A3用紙指定追加(クロス集計)
- ・ n表%表の別シート出力(クロス集計)

#### ●印刷機能その他の新機能

- ・ 「Professional太閤」を標準搭載 \*
- ・ クロス集計/数量クロス集計の最大カテゴリセルの彩色機能
- ・ 複数クロス表の任意カテゴリ結合機能

\* 太閤Ver.3.0で販売した拡張ツールキット



# グラフ編の新機能

## ●グラフレイアウト設定の強化

- ・グラフ雛形ファイルは、任意のフォルダに保存可能になりました。
- ・複数の太閤ユーザー間での雛形ファイル共有が可能になります。
- ・太閤の再インストールをおこなっても、グラフ雛形ファイルは初期化されません。



# 解析編の新機能

## ●回答者選択に「項目」追加。

項目で指定したカテゴリごとに解析をおこないます。  
 例えば、項目に「性別」を選択すれば、「男性」「女性」ごとに解析をおこないます。  
 この新機能により、全体の解析だけでなく、質問の選択肢ごとの分割解析が簡単な指定でおこなえます。  
 右の例は年代ごとのCS分析解析例です。

## ●因子分析

これまでの「主因子法」に加え、「最尤法」と「重み付き最小2乗法」を追加しました。  
 因子の回転に「プロマックス回転」を追加しました。

## ●クラスター分析

「非階層型」と呼ばれる「K-平均法」を追加しました。  
 これによりサンプル数が多いときの制限が大幅に緩和されました。

## ●数量化理論

数量化I類と数量化II類ではどのアイテム（項目）が目的変数に影響を及ぼすかを検定する指標を追加しました。  
 アイテム(項目)ごとの検定が可能になりました。

## ●独立性の検定

2×2のすべてのクロス集計でFisherの正確検定が可能になりました。

## ■年代ごとのCS分析解析例

The image shows a software interface for CS analysis. The top window is titled 'CS分析【カテゴリー別】' and contains various settings for analysis, including '分析対象となる項目の指定' (Specify analysis target items), '目的変数 (SA)' (Dependent variable (SA)), and '分析結果' (Analysis results). A '項目' (Item) dropdown is highlighted with a red box. Below this, a 'カテゴリーの選択' (Category selection) dialog box is shown, with '年齢' (Age) selected. The bottom part of the image shows three overlapping windows displaying analysis results for different age groups: '【年齢-20代】の解析結果' (Analysis results for age 20s), '【年齢-30代】の解析結果' (Analysis results for age 30s), and '【年齢-40代以上】の解析結果' (Analysis results for age 40s and above). Arrows indicate the flow from the settings window to the category selection dialog, and then to the results windows.



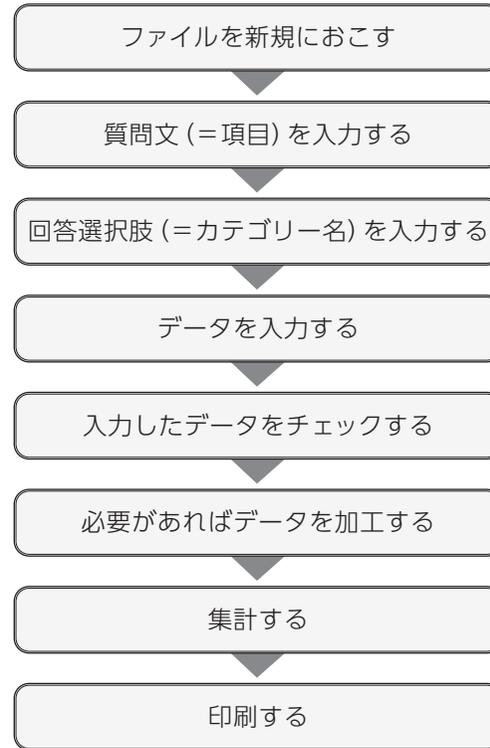
# 集計編



## ■ 概要

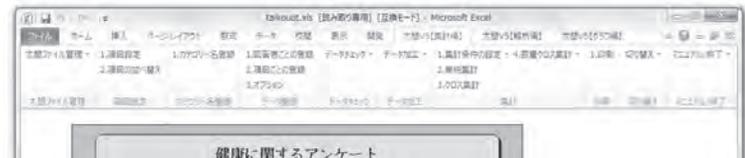
EXCELアンケート太閤の「集計版」「集計+グラフ版」「全機能版」の全てに搭載されています。集計編はアンケート集計の中心となる機能です。

下記の流れで、回答データの入力から集計、結果出力までスムーズにおこなえます。



太閤のメニューは、データ入力から集計までの作業手順にあわせた構成にしています。メニュー形式はエクセル標準のリボン形式メニューです。

太閤集計編メニューイメージ

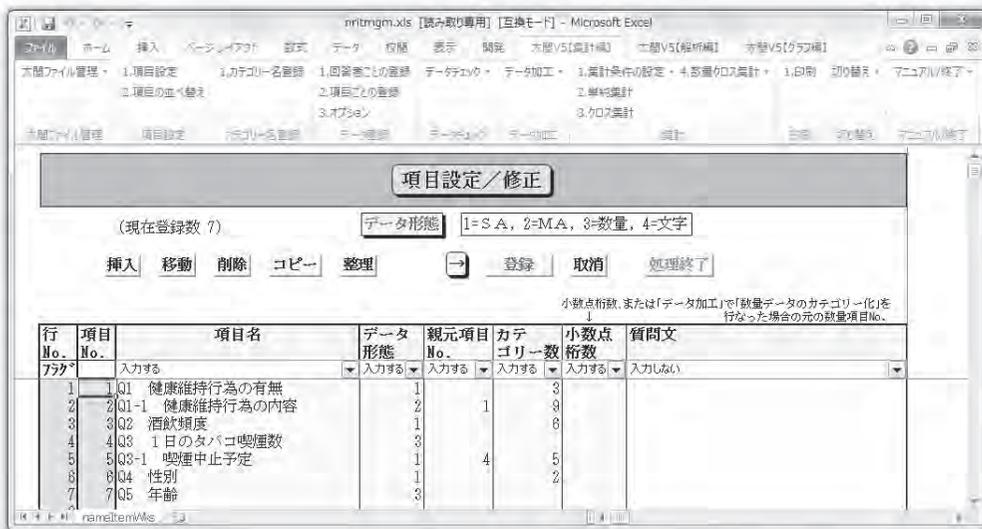


# 1 質問文を入力する

【項目設定】

質問の略名と回答形式を入力します。

## 入力画面

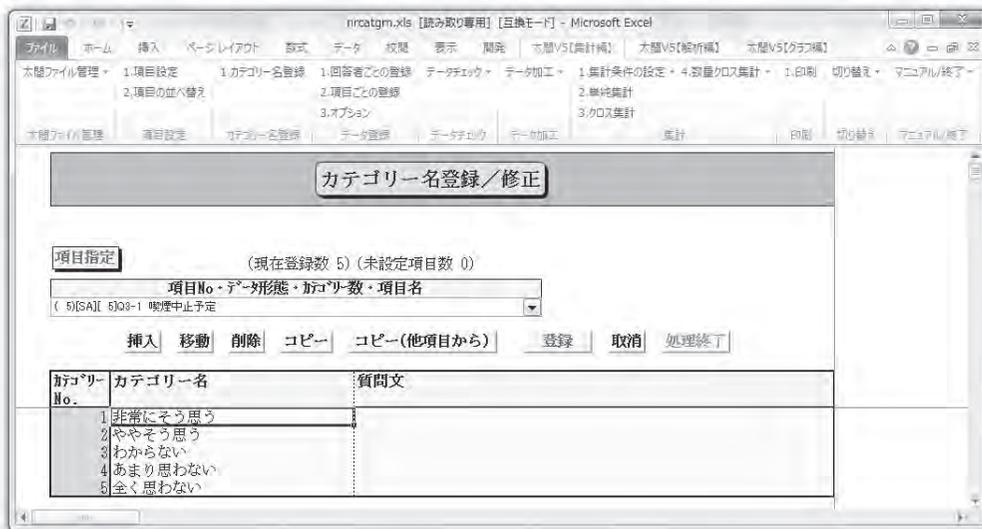


# 2 回答選択肢を入力する

【カテゴリ名登録】

「はい」「いいえ」など、集計時に表示する回答選択肢の内容を入力します。

## 入力画面



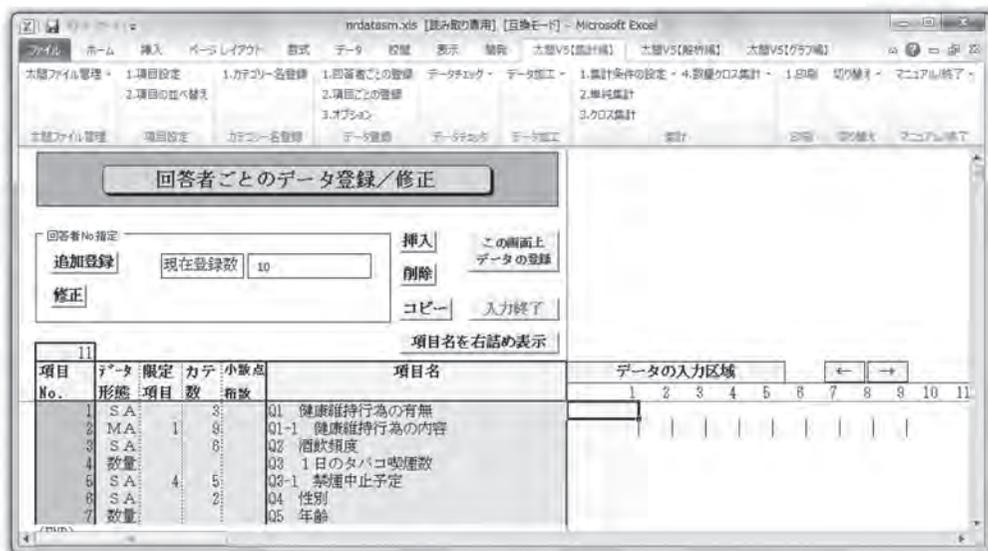
# 3 データを入力する

## 【データ登録】

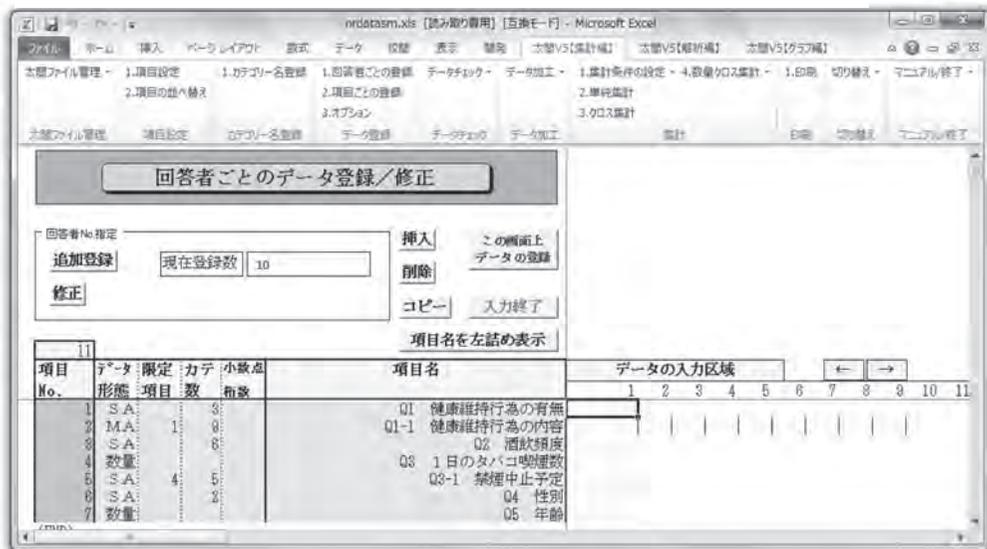
データ入力時に便利な、項目名称（質問）の「右詰め」「左詰め」表示の選択ができます。

### 入力画面

項目名称（質問）の左詰め表示



項目名称（質問）の右詰め表示



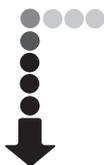
※ Excel 形式ファイルのアンケート回答を太閤に取り込むことも可能です。

# 4 入力したデータをチェックする

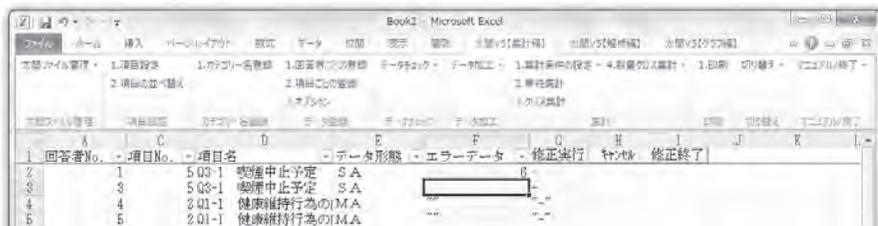
## 【データチェック】

入力時のミスや論理的に矛盾したデータを検出します。複数の質問間の矛盾回答も検出可能です。様々な角度からデータチェックをおこない、アンケート回答をクリーンアップします。

### 入力画面 「エラーデータのチェック」の場合



### 出力イメージ 「エラーデータのチェック」の場合



※多彩なデータチェック機能が装備されています。

チェックの種類	内容
エラーデータのチェック	「回答選択肢が5個しかないのに「55」と入力されている」「回答が空欄である」といった、入力の単純ミスが疑われる回答者を検出できます。
限定質問の該当チェック	「Q1でYesと答えた人しかQ2に答えてはいけないのに…」といった、本当は答える資格が無いのに答えてしまっている回答者を検出できます。
限定質問の親元チェック	上述した「限定質問の該当チェック」のいわば反対のチェック機能です。たとえば「Q1ではYesともNoとも答えていないが、Q2に答えているということは、回答しただけで、きっとQ1はYesなのだろう」と思われる回答者を検出できます。
数量質問の上・下限チェック	ユーザーの意図する上限/下限を超過した回答者を検出できます。
順位回答のダブリチェック	順位づけが要求されている質問で、重複した順位をつけた回答者を検出できます。
MA質問の矛盾回答チェック	MAで、「この中にはひとつもない」といった旨の回答選択肢を選んでおきながら、他の回答選択肢も選んでいる回答者を検出できます。
回答者抽出条件の該当チェック	ユーザーが定義した条件に該当する回答者を検出できます。
同一回答選択肢質問間のチェック	たとえば「Q1.好きな雑誌は？」という質問の直後に「Q2.そのうち最も好きな雑誌は？」と問われた際に、Q1で選んでいない回答選択肢をQ2で選んでしまっている回答者を検出できます。
MA質問の回答個数チェック	「〇は3つまで」といった制約を超過した回答者を検出できます。
条件式からエラーチェック	ユーザーが定義した条件に該当する回答者を検出し、その回答を不明もしくは非該当に変換するための機能です。反対に、ユーザーが定義した条件に該当しない回答者を検出し、その回答を不明もしくは非該当に変換することも可能です。
データチェック時の表示項目指定	データチェックの確認画面において、ユーザーが独自に設定したデータIDを表示するための機能です。この機能により、データチェック時の内容確認がより便利になりました。
一時作成ファイルの整理	集計版を使用中に作成された不要なBookを閉じる機能です。多くのファイルを同時に開いているとExcelは動作が不安定になることがあります。その問題を回避し、より安定的に太閤を利用できます。
データチェック時の自動再実行 【*Ver.5.0追加機能】	データチェックをおこなうと、履歴が登録されます。これを登録順に再実行します。データチェック作業後に回答データが追加された時に便利です。

# 5 データを加工する

## 【データ加工】

登録したアンケートの回答データを指定した条件により変換し、新規質問の形で追加登録します。  
回答データに対しさまざまな加工をおこなうことにより、集計・分析しやすいデータ形式への変換が可能となります。

### データ加工を利用したクロス集計例

#### アンケートイメージ

問1 お酒を飲む頻度をお知らせ下さい。(○は1つだけ)

1.週に5回以上 2.週に3~4回 3.週に1~2回 4.月に数回  
5.めったに飲まない 6.全く飲まない

問2 あなたの性別をお知らせ下さい。(○は1つだけ)

1.男性 2.女性

問3 あなたの年齢をご記入下さい。

□□ 歳

#### ■質問からのクロス集計結果

	全体	Q1 酒飲頻度					
		週に5回以上	週に3-4回	週に1-2回	月に数回	めったに飲まない	まったく飲まない
合計	100.0%	12.5%	15.0%	22.5%	20.0%	20.0%	10.0%
Q2 性別							
男性	100.0%	6.3%	12.5%	31.3%	37.5%	6.3%	6.3%
女性	100.0%	17.4%	17.4%	17.4%	8.7%	26.1%	18.0%

#### ■データ加工後のクロス集計結果

使用したデータ加工・数量のカテゴリー化  
・複数質問のクロス

	全体	Q1 酒飲頻度						
		週に5回以上	週に3-4回	週に1-2回	月に数回	めったに飲まない	まったく飲まない	
合計	100.0%	12.5%	15.0%	22.5%	20.0%	20.0%	10.0%	
性別×年齢	男性-20代	100.0%	0.0%	11.1%	44.4%	33.3%	11.1%	0.0%
	男性-30代	100.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	男性-40代以上	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	女性-20代	100.0%	18.2%	9.1%	27.3%	18.2%	27.3%	0.0%
	女性-30代	100.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	女性-40代以上	100.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	28.6%	42.9%

※多彩なデータ加工機能が装備されています。

#### カテゴリー統合 (複雑な選択肢を単純な選択肢に統合)

##### ●具体例

	雑誌Aは好き？ (SA)		雑誌Aは好き？ (SA)
回答者 1	非常に好き	➡	好き
回答者 2	やや好き	➡	好き
回答者 3	普通	➡	普通
回答者 4	やや嫌い	➡	嫌い
回答者 5	嫌い	➡	嫌い
⋮	⋮	⋮	⋮

#### 数量のカテゴリー化 (数量回答を任意の単数回答形式に変更)

##### ●具体例

	年齢 (数量)		年齢 (SA)
回答者 1	47	➡	40代
回答者 2	32	➡	30代
回答者 3	35	➡	30代
⋮	⋮	⋮	⋮

<SA> (Yes/No) → <MA> (2択の単数回答(複数)を1つの複数回答に変更)

● 具体例

	雑誌Aは好き？ (SA)	雑誌Bは好き？ (SA)	雑誌Cは好き？ (SA)	→	どの雑誌が好き？ (MA)
回答者 1	Yes	No	No	→	A
回答者 2	Yes	No	Yes	→	A,C
回答者 3	Yes	Yes	Yes	→	A,B,C
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

<MA> → <SA> (Yes/No) (複数回答を2択の単数回答(複数)に変更)

● 具体例

	どの雑誌が好き？ (MA)	→	雑誌Aは好き？ (SA)	雑誌Bは好き？ (SA)	雑誌Cは好き？ (SA)
回答者 1	A	→	Yes	No	No
回答者 2	A,C	→	Yes	No	Yes
回答者 3	A,B,C	→	Yes	Yes	Yes
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

<SA,MA> → <MA>積み上げ (同選択肢の複数質問を1つの複数回答に変更)

● 具体例

	最も好きなメニューは？ (SA)	次に好きなメニューは？ (SA)	→	好きなメニューは？ (MA)
回答者 1	カツ丼	カレーライス	→	カツ丼,カレーライス
回答者 2	カレーライス	カツ丼	→	カツ丼,カレーライス
回答者 3	すし	そば	→	すし,そば
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

<MA>の回答個数 → <SA> (複数質問の回答個数を単数回答に変更)

● 具体例

	どの雑誌が好き？ (MA)	→	好きな雑誌の個数 (SA)
回答者 1	A	→	1個
回答者 2	A,C	→	2個
回答者 3	A,B,C	→	3個
⋮	⋮	⋮	⋮

<MA>の回答個数 → <数量> (複数質問の回答個数を数量回答に変更)

● 具体例

	どの雑誌が好き？ (MA)	→	好きな雑誌の個数 (数量)
回答者 1	A	→	1
回答者 2	A,C	→	2
回答者 3	A,B,C	→	3
⋮	⋮	⋮	⋮

「不明」「非該当」の変換 (不明回答を「わからない」などの選択肢に置換)

## ● 具体例

	雑誌Aは好き？ (SA)		雑誌Aは好き？ (SA)
回答者 1	Yes	➔	Yes
回答者 2		➔	どちらともいえない
回答者 3	No	➔	No
⋮	⋮	⋮	⋮

## 条件式 → &lt;SA&gt;

(ユーザーが作成した集計条件から2択の単数回答を作成)

## ● 具体例

	性別 (SA)	年齢 (SA)	職業 (SA)		女性で40代で会社員 (SA)
回答者 1	女性	40代	会社員	➔	Yes
回答者 2	女性	30代	主婦	➔	No
回答者 3	男性	30代	会社員	➔	No
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

## 複数の質問の結合

(別々の質問をまとめて1つの質問に結合)

## ● 具体例

	性別 (SA)	年齢 (SA)	職業 (SA)		属性 (MA)
回答者 1	女性	40代	会社員	➔	女性,40代,会社員
回答者 2	女性	30代	主婦	➔	女性,30代,主婦
回答者 3	男性	30代	会社員	➔	男性,30代,会社員
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

## 複数の質問のクロス

(別々の質問間の選択肢をクロス統合)

## ● 具体例

	性別 (SA)	年齢 (SA)	職業 (SA)		性別×年代×職業 (SA)
回答者 1	女性	40代	会社員	➔	女性で40代で会社員
回答者 2	女性	30代	主婦	➔	女性で30代で主婦
回答者 3	男性	30代	会社員	➔	男性で30代で会社員
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

## SA/数量項目間の大小判定

(2つの質問間の大小判定結果を単数回答に変更)

## ● 具体例

	雑誌Aは面白い？ (SA)	雑誌Bは面白い？ (SA)		AとBのどちらが面白い？ (SA)
回答者 1	面白い	つまらない	➔	Aのほうが面白い
回答者 2	まあまあ面白い	面白い	➔	Bのほうが面白い
回答者 3	面白い	面白い	➔	どちらも面白い
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

数量項目の最大/最小 → SA/MA (複数の数量回答間の大小判定を単数回答に変更)

● 具体例

	これまでラーメン屋A に来た回数 (数量)	これまでラーメン屋B に来た回数 (数量)	これまでラーメン屋C に来た回数 (数量)		最大往訪店舗 (SA)
回答者 1	1	5	2	➔	ラーメン屋 B
回答者 2	10	0	0	➔	ラーメン屋 A
回答者 3	2	3	4	➔	ラーメン屋 C
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

順位回答の項目カテゴリー変換

(順位回答で、カテゴリー優先質問(順位付け)と順位優先質問(順位付け)への相互変換)

● 具体例

	好きな色 の順位 (SA):赤	好きな色 の順位 (SA):緑	好きな色 の順位 (SA):桃	好きな色 の順位 (SA):紫	好きな色 の順位 (SA):青		好きな色 の順位 (SA):1位	好きな色 の順位 (SA):2位	好きな色 の順位 (SA):3位	好きな色 の順位 (SA):4位	好きな色 の順位 (SA):5位
回答者1	1位	2位	3位	4位	5位	↔	赤	緑	桃	紫	青
回答者2	5位	4位	2位	1位	3位	↔	紫	桃	青	緑	赤
回答者3	2位	3位	4位	5位	1位	↔	青	赤	緑	桃	紫

ディテール集計

(回答者単位での集計を回答数単位への集計にデータ変換)

● 具体例

	Aビール(MA)	Bビール(MA)	Cビール(MA)	Dビール(MA)		回答者	ビールの種類(SA)	ビールの印象(MA)
回答者1	新鮮 本格的 キレがある やさしい	若々しい コク 苦味 コク		高級 さわやか やさしい	➔	回答者1	Aビール	新鮮 本格的 キレがある やさしい
回答者2	本格的 品質が良い	本格的 苦味	現代的 さわやか ずっきり		➔	回答者1	Bビール	若々しい コク 苦味
						回答者1	Dビール	高級 さわやか やさしい
						回答者2	Aビール	本格的 品質が良い
						回答者2	Bビール	コク 本格的 苦味
						回答者2	Cビール	現代的 さわやか ずっきり

新機能 文字データのカテゴリー化 (文字データをSA形式のカテゴリーデータに変換)

● 具体例

	住 所 (文字)		住 所 (SA)
回答者 1	東京都	➔	東京都
回答者 2	東京	➔	東京都
回答者 3	千葉	➔	千葉県
⋮	⋮		⋮

★カテゴリー変換リストから簡単設定でSA形式データへ変換可能です。

データ加工の自動再実行

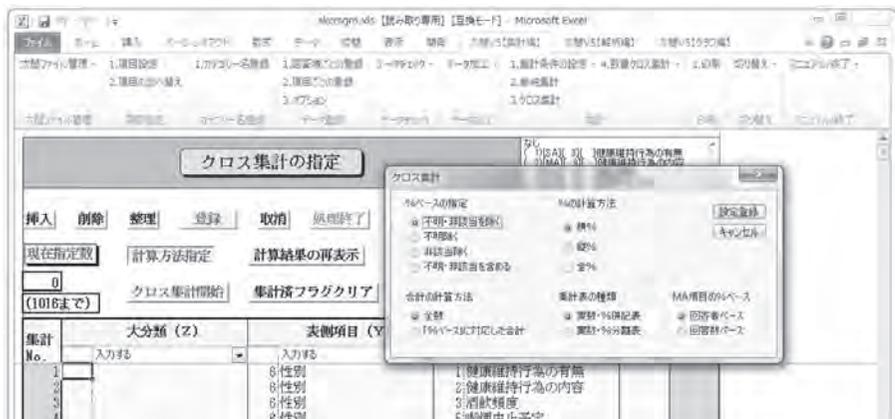
データを加工をおこなうと、履歴が登録されます。

これを登録順どおりに再実行します。データ加工作業後に回答データが追加された時に便利です。

# 6 集計する

## 【集計】

### 入力画面 クロス集計



※単純集計・クロス集計・数量クロス集計に対応しています。

※クロス集計は、3重クロス集計も可能です。

※設定により、「女性だけ」「30歳以上の群馬県の人だけ」といった、ある特定の属性を有する回答者だけを抽出して集計することも可能です。

※母集団拡大集計(ウェイト集計)が可能です。

※「回答が不明の回答者」や「集計に該当しない回答者」を含めたり含めなかったりしての集計が可能です。



EXCELアンケート太閤には下記の集計機能が搭載されています。

すべての集計方法で、「質問Aに「はい」と答えた人だけ集計する」「20代の男性だけ集計する」などの高度な条件集計機能が搭載されています。

#### ■単純集計

項目ごとにカテゴリー別の回答件数の集計と、構成比(%), 平均・標準偏差の算出をおこないます。

ランキング集計、母集団拡大集計、数量項目の度数分布表の作成が可能です。



#### ■クロス集計

2重、3重クロス、条件付きクロスによる回答件数などがおこなえます。

平均・標準偏差付クロス、母集団拡大集計、%ベース指定集計etc.が可能です。



#### ■数量クロス集計

分類項目カテゴリー別に、合計・平均・%・中央値・標準偏差を算出します。

2項目をクロスさせて集計することも出来ます。





入力画面 クロス集計

クロス集計

Z項目No.・Y項目No.・X項目No.

1)Q4 性別Q1 健康維持行為の有無  
 2)Q4 性別Q1 健康維持行為の内容  
 3)Q4 性別Q2 酒飲頻度  
 4)Q4 性別Q3-1 喫煙中止予定

処理実行  
 キャンセル

すべて選択

出力形態

表頭の不明の表示 (  非該当 )  
 累計の表示 (MA回答者ベースのみ)  
 表側の不明の表示 (  非該当 )  
 空白行の削除 (分離表のみ)  
 一クロスごとに改ページ  
 調査名の表示  
 表側の項目名を2列表示  
 表側の項目名を3列表示  
 項目名・カテゴリ名をセル結合  
 罫線を入れる  
 平均・中央値の表示 (  標準偏差 )  
 表頭名を質問文  表側名を質問文  
 トップ1項目のセルに色付けをする  
 %値を「%」表示 (「詳細設定」を参照)  
 目次の出力

用紙

A4縦 B4縦 A3縦  
 A4横  B4横  A3横  
 指定なし (強制改ページなし)

出力表

n表  n表・%表  併記表  
 %表  n・%表

フォント

標準フォント  
 MS明朝  
 MSゴシック 縮小

フォントサイズ 12 75 %  
 (10.0~12.0) (最小:50%)

開始ページ 1

データ保存先

ドライブ/フォルダ名: C:\Users\esumi\_ap\Documents\\*大関データ  
 ファイル(ファイル)名: 健康クロス集計.xls 参照 回目

この設定を初期値とする (ファイル名以外)



出力イメージ

クロス集計ー併記表

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	
1	調査名 (健康に関するアンケート)														
2															
3			全体	Q1 健康維持行為の有無 行っている 時々行う 全く行っていない 不明											
4			合計	40	15	17	8	0							
5			100.0%	37.5%	42.5%	20.0%									
6	Q4 性別	男性	100.0%	19.0%	62.5%	18.5%		0							
7		女性	100.0%	23	11	7	5	0							
8			100.0%	47.5%	30.4%	21.7%									
9			合計	31	14	9	10	3	13	10	7	3	4	1	0
10			100.0%	45.2%	29.0%	29.7%	9.7%	41.9%	32.3%	22.6%	9.7%	12.9%			
11	Q4 性別	男性	100.0%	38.8%	15.4%	15.4%	0.0%	53.8%	46.2%	36.5%	7.7%	7.7%			
12		女性	100.0%	17	9	7	9	2	5	4	2	2	1	1	0
13			100.0%	32.9%	41.3%	32.9%	12.6%	29.4%	23.5%	11.8%	11.8%	11.8%			
14			合計	31	14	9	10	3	13	10	7	3	4	1	0
15			100.0%	45.2%	29.0%	29.7%	9.7%	41.9%	32.3%	22.6%	9.7%	12.9%			
16	Q4 性別	男性	100.0%	38.8%	15.4%	15.4%	0.0%	53.8%	46.2%	36.5%	7.7%	7.7%			
17		女性	100.0%	17	9	7	9	2	5	4	2	2	1	1	0
18			100.0%	32.9%	41.3%	32.9%	12.6%	29.4%	23.5%	11.8%	11.8%	11.8%			
19			合計	31	14	9	10	3	13	10	7	3	4	1	0
20			100.0%	45.2%	29.0%	29.7%	9.7%	41.9%	32.3%	22.6%	9.7%	12.9%			
21	Q4 性別	男性	100.0%	38.8%	15.4%	15.4%	0.0%	53.8%	46.2%	36.5%	7.7%	7.7%			
22		女性	100.0%	17	9	7	9	2	5	4	2	2	1	1	0
23			100.0%	32.9%	41.3%	32.9%	12.6%	29.4%	23.5%	11.8%	11.8%	11.8%			

クロス集計ー分離表

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	
1	調査名 (健康に関するアンケート)														
2															
3			全体	Q1 健康維持行為の有無 行っている 時々行う 全く行っていない 不明											
4			合計	100.0%	37.5%	42.5%	20.0%								
5			100.0%	37.5%	42.5%	20.0%									
6	Q4 性別	男性	100.0%	19.0%	62.5%	18.5%									
7		女性	100.0%	23.0%	30.4%	21.7%									
8			100.0%	47.4%	30.4%	21.7%									
9			合計	31	14	9	10	3	13	10	7	3	4	1	0
10			100.0%	45.2%	29.0%	29.7%	9.7%	41.9%	32.3%	22.6%	9.7%	12.9%			
11	Q4 性別	男性	100.0%	38.8%	15.4%	15.4%	0.0%	53.8%	46.2%	36.5%	7.7%	7.7%			
12		女性	100.0%	17	9	7	9	2	5	4	2	2	1	1	0
13			100.0%	32.9%	41.3%	32.9%	12.6%	29.4%	23.5%	11.8%	11.8%	11.8%			
14			合計	31	14	9	10	3	13	10	7	3	4	1	0
15			100.0%	45.2%	29.0%	29.7%	9.7%	41.9%	32.3%	22.6%	9.7%	12.9%			
16	Q4 性別	男性	100.0%	38.8%	15.4%	15.4%	0.0%	53.8%	46.2%	36.5%	7.7%	7.7%			
17		女性	100.0%	17	9	7	9	2	5	4	2	2	1	1	0
18			100.0%	32.9%	41.3%	32.9%	12.6%	29.4%	23.5%	11.8%	11.8%	11.8%			
19			合計	31	14	9	10	3	13	10	7	3	4	1	0
20			100.0%	45.2%	29.0%	29.7%	9.7%	41.9%	32.3%	22.6%	9.7%	12.9%			
21	Q4 性別	男性	100.0%	38.8%	15.4%	15.4%	0.0%	53.8%	46.2%	36.5%	7.7%	7.7%			
22		女性	100.0%	17	9	7	9	2	5	4	2	2	1	1	0
23			100.0%	32.9%	41.3%	32.9%	12.6%	29.4%	23.5%	11.8%	11.8%	11.8%			

※%値に%文字を付加することも可能です。



# グラフ編



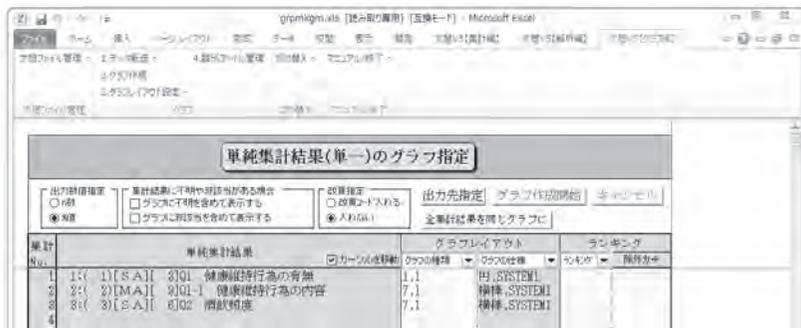
## ■ 概要

EXCELアンケートの「集計+グラフ版」「全機能版」に搭載されています。

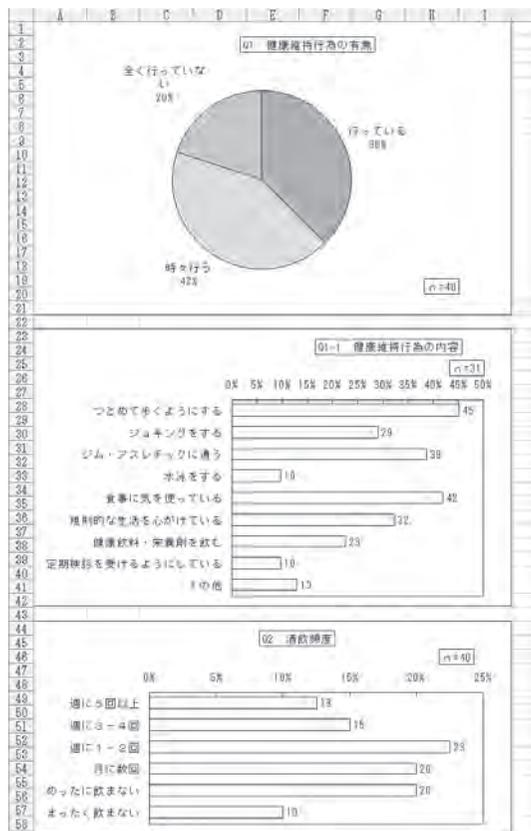
グラフ編は、集計編の集計結果をグラフ化するものです。

集計編の情報とリンクしてグラフを作成するので、一度に大量のグラフを描くことができます。Excelの通常の操作では、グラフウィザードボタンを押して1つ1つグラフを作成しなければいけません。グラフ編を用いると、その作業を簡略化できます。

### ● グラフ化したい設問を指定し、実行すると・・・

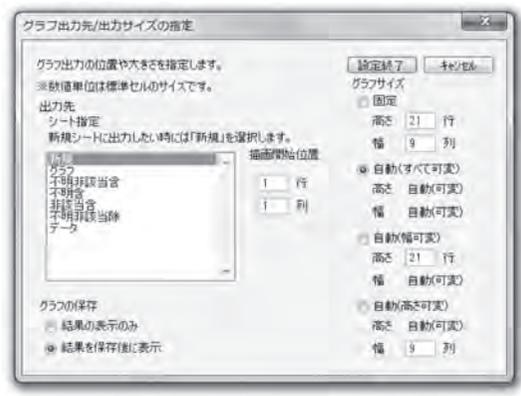


### ● 1つのシートにグラフがまとめて出力されます。

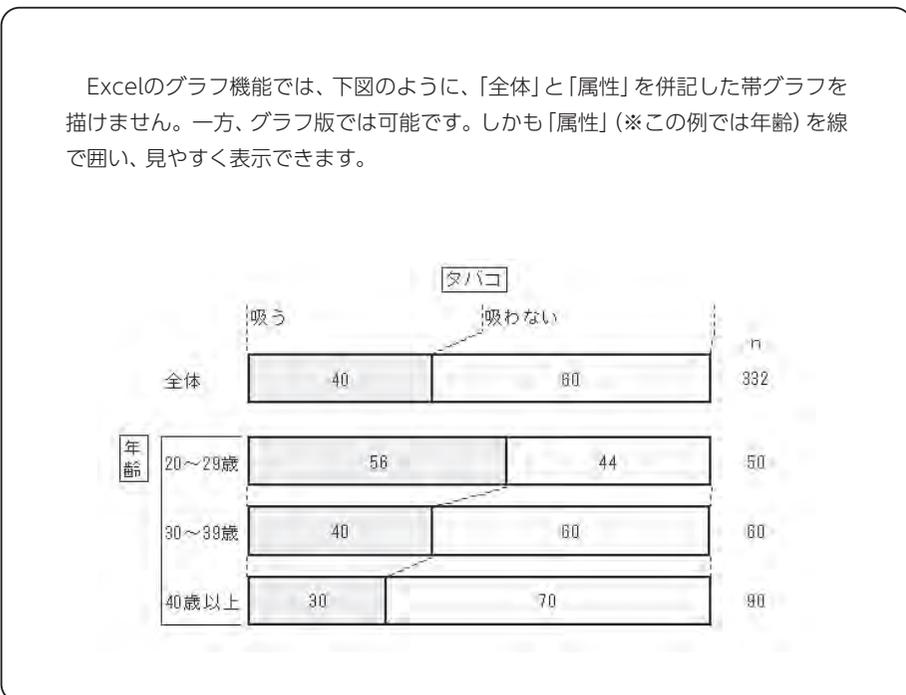


グラフ編で描くことができるグラフは以下のとおりです。

- 円グラフ
- ドーナツグラフ
- 横帯グラフ
- 縦帯グラフ
- 横棒グラフ
- 縦棒グラフ
- 横ヒストグラム
- 縦ヒストグラム
- 横折れ線グラフ
- 縦折れ線グラフ
- レーダーチャート
- 面グラフ
- 積み上げ帯グラフ
- 棒グラフ & 折れ線グラフ



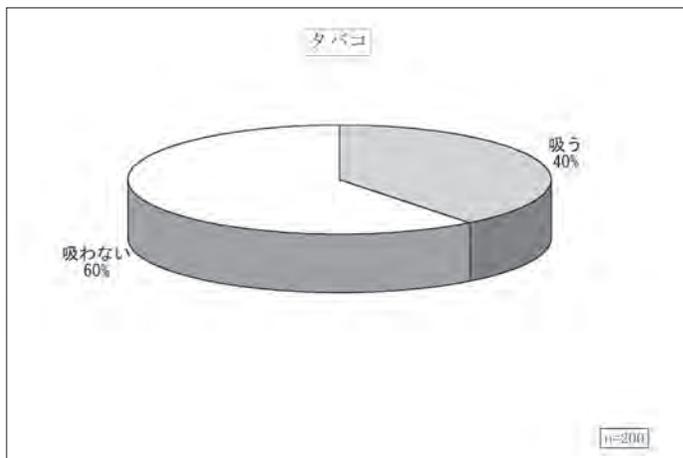
出力するグラフのサイズを指定できます。  
 ★「可変」とは、出力するグラフのカテゴリ数により最適な出力サイズを自動的に決定します。  
 ★行 / 列の指定数値は Excel シート上のセル数です。  
 高さ 21 行、幅 9 列は、範囲分のセルサイズと同じ大きさになります。



グラフはExcelのシート上に出力されます。

Excelでは、「グラフの色」「フォント」「数値の表示形式」などの書式を、グラフを出力した後に、1つ1つのグラフに対して設定しなければなりません。一方、グラフ編では、グラフを出力する前に書式を設定/登録しておくことが可能です。ユーザーのお好みのグラフをいつでも出力できます。

● 初期設定状態で出力した場合



● グラフの色とフォントを変えて出力した場合





# 解析編



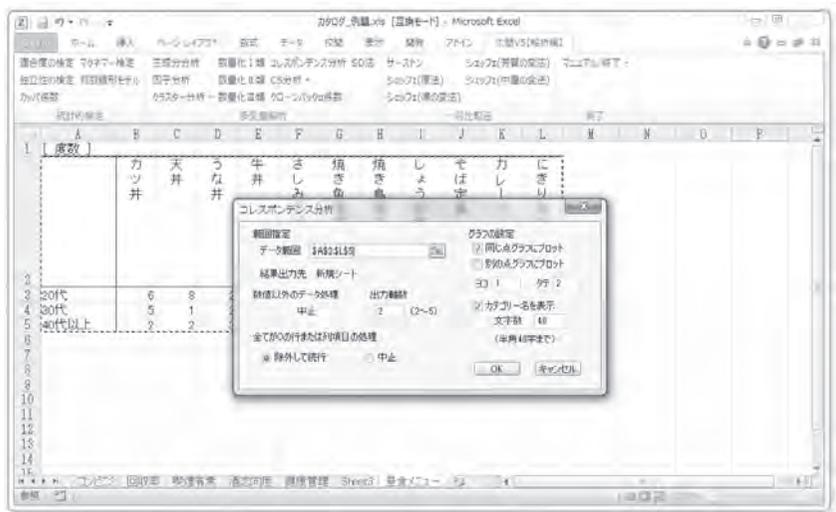
## ■ 概要

EXCELアンケート太閤の「全機能 版」にのみ搭載されています。  
 解析編は、「併用使用」と「単独使用」の2種類からなります。  
 「併用使用」は、「集計編」と連動して動作します。「単独使用」は、「集計編」とは無関係に動作します。雰囲気がExcelの「データ分析」に似ています。

### ●併用使用



### ●単独使用



分析結果はExcelのシート上に出力されます。グラフや表の編集が簡単におこなえます。  
 実践的な例題がおさめられたExcelのファイルが同梱されています。例題を解きながら分析手法の考え方が身につけられます。

## ■ 搭載手法

併用	単独	手 法 名	
○		単相関係数	数量データと数量データの関連の度合いをあらわす指標です。
○		相関比	数量データとカテゴリデータの関連の度合いをあらわす指標です。
○		母比率の差の検定	比率に関する代表的な検定です。
○		母平均の差の検定	一般的に「t検定」と呼ばれている著名な検定です。
○	○	独立性の検定	一般的に「カイニ乗検定」と呼ばれている著名な検定です。残差分析もおこなえます。
○	○	カッパ係数	評価者2人の判定結果がどの程度一致しているかをあらわす指標です。
○	○	マクネマー検定	いわば「対応のある場合の母比率の差の検定」です。
○	○	対数線形モデル	「クロス集計表を構成する変数の各カテゴリーの度数が顕著に大きいか小さいか」を明らかにするための手法です。
○	○	適合度の検定	n数に関する著名な検定です。
○		正規性の検定	正規分布かどうかを検定する手法です。
○	○	主成分分析 ※	多次元データを少次元データに集約するための手法です。「5教科の総合成績」「総合的なスポーツ能力」などを明らかにする際に用いられます。
○	○	因子分析 ※	「人々の潜在意識」など、「データの背後に潜むもの」の存在が明らかになる手法です。多次元データを少次元データに集約する手法ともいえます。
○	○	クラスター分析 ※	分析対象（サンプルor変数）間の距離に基づき分析対象を分類する手法です。階層型と非階層型（K-平均法）に対応しています。
○	○	重回帰分析	「新規開業予定店舗の売上額」などを予測するための手法です。利用する説明変数に数量データを利用します。
○	○	数量化I類	「新規開業予定店舗の売上額」などを予測するための手法です。説明変数がカテゴリデータである重回帰分析です。
○	○	数量化II類	「その人にガンのおそれがあるか」「その人は○○大学に合格できそうか」「その企業の経営状態は健全か」といった、判別をおこなうための手法です。説明変数がカテゴリデータである判別分析です。
○	○	数量化III類 ※	似ている個体および似ている変数を明らかにするための手法です。
○	○	コレスポンデンス分析	クロス集計表における2変数の関連を明らかにするための手法です。プレゼンテーションに最適です。
○	○	CS分析	顧客満足度調査に最適な手法です。改善すべき事柄を明らかにするための手法です。
○	○	クローンバック $\alpha$ 係数	内的整合性をあらわす指標です。
○	○	SD法	印象評価を数値化するための方法です。
○	○	サーストンの一対比較法	「商品Aと商品B」「商品Aと商品C」「商品…と商品…」といった比較から、最も評価されている商品を明らかにするための手法です。
○	○	シェッフェの一対比較法	「商品Aと商品B」「商品Aと商品C」「商品…と商品…」といった比較から、最も評価されている商品を明らかにするための手法です。原法のみならず、浦・芳賀・中屋の変法にも対応しています。

※解析結果から得られた個人ごとのデータを集計編に登録できます。この機能により、解析結果を利用した集計が可能です。

## ■ 分析例

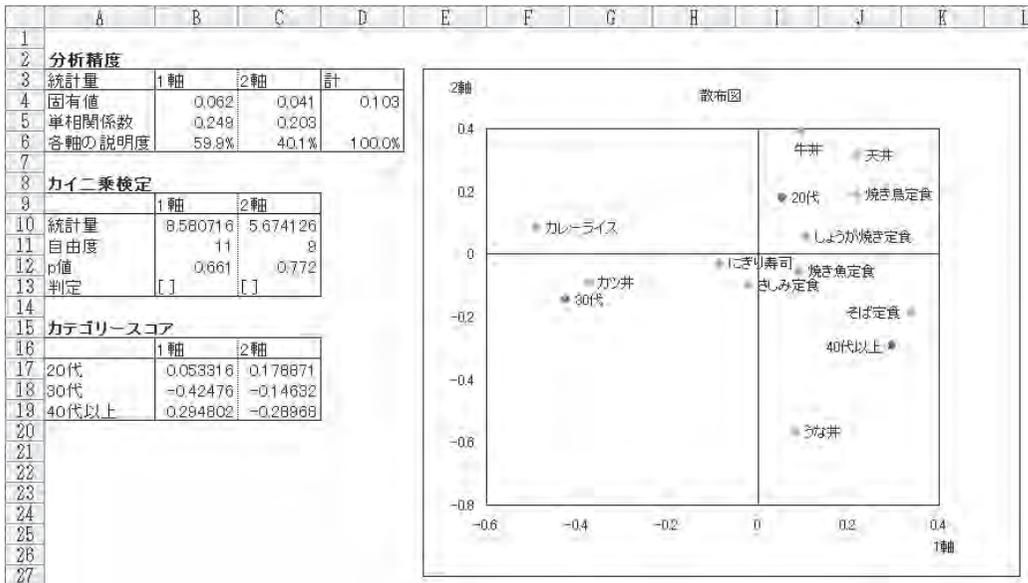
### ● コレスポンデンス分析

コレスポンデンス分析は、クロス集計表における2変数の関連を明らかにするための手法です。プレゼンテーションに最適です。ここでは「単独使用」を使用しての解析例をご紹介します。解析結果はすべてExcelのシート上に出力されます。レポートなどに使用するときにも大変便利です。

下表は「年代」と「最も好きな食べ物」のクロス集計表です。  
このデータに対してコレスポンデンス分析をおこないます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	[ 度数 ]											
2		カツ井	天井	うな井	牛井	さしみ定食	焼き魚定食	焼き鳥定食	しょうが焼き定食	そば定食	カレーライス	にぎり寿司
3	20代	6	8	2	6	6	8	8	10	8	8	10
4	30代	5	1	2	1	3	3	1	3	2	6	5
5	40代以上	2	2	3	1	3	4	2	4	6	1	4
6												
7												

下図の解析結果が表示されます。(表示内容は解析結果の一部です)

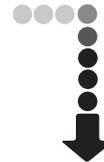


●因子分析

因子分析は、「データの背後に潜むもの」の存在が明らかになる手法です。  
 多次元データを少次元データに集約する手法ともいえます。

下表はドクターを対象に、製菓メーカーの企業イメージを訊ねた結果を記したものです。  
 このデータに対して因子分析をおこないます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
	企業名	ユニークな製品がある	研究開発に熱心	宣伝広告に熱心	セールスマンの質がよい	サービスがよい	近代的である	安定性がある	伝統がある
1									
2	1	17	36	36	57	42	8	43	37
3	2	11	33	36	53	36	6	50	52
4	3	20	31	37	41	33	10	31	23
5	4	16	22	27	42	26	6	41	34
6	5	47	43	26	33	23	22	27	15
7	6	40	34	20	31	17	12	20	8
8	7	22	15	25	31	20	12	13	5
9	8	21	30	32	31	22	5	23	20
10	9	17	17	31	34	25	7	15	10
11	10	37	29	26	28	19	15	16	12
12	11	26	24	21	27	19	15	16	13
13	12	11	5	20	35	15	15	20	14
14	13	22	18	26	27	15	6	25	24
15	14	29	33	25	24	13	4	8	5
16	15	25	28	27	25	11	9	22	17
17	16	32	19	39	21	18	18	20	8
18	17	24	19	22	27	16	16	21	19
19	18	51	25	19	22	12	25	11	8



下図の解析結果が表示されます。(表示内容は解析結果の一部です)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
41	共通性の初期値の設定方法		反復推定の回数 4							
42	重相関係数の2乗									
43		初期値	推定値							
44	ユニークな製品がある	0.916	0.994							
45	研究開発に熱心	0.854	0.834							
46	宣伝広告に熱心	-0.636	0.425							
47	セールスマンの質がよい	0.928	0.888							
48	サービスがよい	0.938	0.905							
49	近代的である	0.764	0.731							
50	安定性がある	-0.915	-0.891							
51	伝統がある	-0.880	-0.725							
52	計算方法:主因子法									
53										
54	二乗和(バリマックス回転)									
55	因子No.	二乗和	寄与率	累積						
56	1	3.82	47.77%	47.77%						
57	2	1.52	18.95%	66.72%						
58	3	1.05	13.16%	79.88%						
59										
60	因子負荷量									
61		因子1	因子2	因子3						
62	ユニークな製品がある	-0.460	0.767	-0.441						
63	研究開発に熱心	0.397	0.109	0.815						
64	宣伝広告に熱心	-0.579	-0.168	-0.247						
65	セールスマンの質がよい	0.898	-0.216	0.179						
66	サービスがよい	-0.893	-0.157	-0.288						
67	近代的である	-0.154	0.840	-0.043						
68	安定性がある	0.918	-0.186	0.119						
69	伝統がある	0.604	-0.276	0.046						
70										

	因子1	因子2	因子3
安定性がある	0.918	-0.186	0.119
セールスマンの質がよい	0.898	-0.216	0.179
サービスがよい	-0.893	-0.157	-0.288
伝統がある	0.604	-0.276	0.046
宣伝広告に熱心	-0.579	-0.168	-0.247
近代的である	-0.154	0.840	-0.043
ユニークな製品がある	-0.460	0.767	-0.441
研究開発に熱心	0.397	0.109	0.815

## EXCELアンケート太閤の 導入支援サービス

EXCELアンケート太閤をスムーズにご利用いただくために  
セミナー形式で導入支援サービスをおこなっております。

### ■セミナー内容：

EXCELアンケート太閤の豊富な機能の中から、基本である  
集計編の使用法をノートパソコンを使用して実習しながら  
学習します。

基本操作が半日で学習できます。

◎ご希望にあわせて下記の2講座を開催しています。

### エスミ社内での導入支援セミナー(無償)

「EXCELアンケート太閤」の購入者が対象です。  
月1回、エスミ社内(東京・中野)にて開催しています。  
下記のような場合にお勧めいたします。

- ・アンケートの集計予定はあるが急いでいない。
- ・エスミ指定の日時でのセミナー受講が可能。
- ・受講者が2名以内。

●詳細、申し込みは下記HPをご参照ください。

[https://www.esumi.co.jp/Software\\_Sokushu.php](https://www.esumi.co.jp/Software_Sokushu.php)

### 来社が難しい方のための出向セミナー(有償)

エスミ社内で開催している導入支援セミナーをご要望の日時、  
場所にて出向開催いたします。

「EXCELアンケート太閤」未購入の場合でもOKです。

下記のような場合にお勧めいたします。

- ・すでにアンケート集計の日程が決まっている。
- ・ソフトの使用法をゆっくりと習得している時間が無い。
- ・「エスミ社内での導入支援セミナー」と日程が合わない。
- ・参加したい人数が多い。
- ・エスミ(東京・中野)まで行くのが大変。

※ソフトの導入支援セミナーのため、代金は実費程度です。  
(交通費+5,000~10,000円程度)

●詳細、申し込みは下記HPをご参照ください。

[https://www.esumi.co.jp/Software\\_Sokushu.php](https://www.esumi.co.jp/Software_Sokushu.php)

### デモンストレーション(無償)

月1回、エスミ社内(東京・中野)にて製品紹介(デモンスト  
レーション)を開催しています。導入を検討されている場合  
などにお勧めいたします。

●詳細、申し込みは下記HPをご参照ください。

[https://www.esumi.co.jp/Software\\_Demo.php](https://www.esumi.co.jp/Software_Demo.php)



### ■エスミのサービス

HPのトップページメニューより下記サービスの詳細が  
ご覧いただけます。

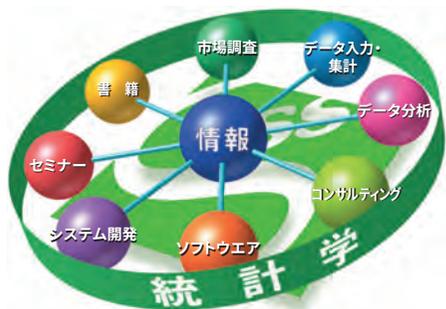
<https://www.esumi.co.jp/>

- 統計ソフト販売
- 統計セミナー
- データ解析

株式会社エスミは、  
統計学を礎とした情報サービス業に従事しております。  
「わかりやすい統計学」をモットーに

- ①市場調査
- ②データ入力・集計
- ③データ分析
- ④コンサルティング
- ⑤ソフトウェアの開発・販売
- ⑥システム開発
- ⑦セミナー
- ⑧書籍

という8つのサービスを皆様にご提供致します。



**株式会社エスミ**

株式会社エスミ アプリケーション開発部 汎用ソフト開発課

〒164-0012 東京都中野区本町4-44-18 ヒューリック中野ビル8F

TEL.03-5385-7321 (平日9:30~12:00/13:00~18:00)

FAX.03-5385-8750

E-mail:syohin@esumi.co.jp

<https://www.esumi.co.jp/>

※カタログに記載されている内容および製品の仕様は、予告無く変更される場合があります。あらかじめご了承ください。  
※Excel for Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。※Windows は、米国マイクロソフト社の商標です。

[2021年1月現在]